

# 水害への備え ～コミュニティタイムライン～

平成30年7月豪雨では、2府31県に及び、死者232人、全壊6,767棟、半壊11,243棟、一部損壊3,991棟、床上浸水7,173棟、床下浸水21,296棟の甚大な被害となりました。

近年の新座市では、川の氾濫や土砂災害こそ発生していませんが、下水道の許容量を超える集中豪雨で排水が進まず、道路や宅地が浸水する内水氾濫が発生しています。

災害に対しては、行政のみならず、家庭や地域で備えることが有効です。大雨に対する地域の備えとして、「コミュニティタイムライン」を作成し、災害リスクや避難のタイミングなど、防災活動を整理する動きが広がっています。本リーフレットでは、地域において、時系列で確認すべき事項を例示しています。

日頃から

- ★地域の危険度を確認しましょう
- ★防災訓練や出前講座で周知・啓発に努めましょう
- ★避難行動要支援者名簿の管理をお願いします

☞ **新座市洪水・土砂災害ハザードマップ**で、お住まいの地域が**洪水浸水想定区域**や**土砂災害警戒区域**に含まれているか確認しましょう。



- ※ 国又は県が、想定雨量に対して区域指定したものであり、想定を超える降雨の場合、想定区域を超えて被害が発生することもあります。
- ☞ **立退き避難する避難場所・避難経路**を確認しておきましょう。
- ☞ ハザードマップで、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）に含まれず、浸水深が3m未満の方で自宅に2階以上の居室がある場合、計画的に高所避難する**屋内安全確保**が可能です。
- ☞ ハザードマップでは、市で把握している近年の主な**道路の浸水箇所（内水氾濫）**も掲載しています。
- ☞ 地域の防災マップなどを作成する際には、これまでに**どこで浸水が発生したか**を、避難場所から遠い地域で、立退き避難ができない場合に**緊急安全確保に活用できる高く頑丈な建物**を、また、要配慮者利用施設などを確認しておきましょう。
- ☞ **防災訓練**の実施や、市が実施している**出前講座**を活用して、地域の危険度や災害時における市の対応など、周知・啓発に努めましょう。出前講座は新座市生涯学習スポーツ課（048-477-1498）にお問い合わせください。
- ☞ **避難行動要支援者の支援制度**とは、可能な範囲での支援をお願いするものであり、地域での声かけのほか、要支援者の方も地域の訓練に参加するなど、**日頃から顔の見える関係づくり**に努めましょう。

5月頃

- ★地域の連絡体制を確認しましょう

- ☞ 地域の連絡網などがあれば、確認しておきましょう。
- ※ **避難行動要支援者**と、その支援者を確認しておきましょう。

2日前

レベル1

警報級可能性

- ～心構え～
- ★台風情報を確認しましょう

- ☞ 気象庁ホームページの「早期警戒情報」、「台風経路図」又は「気象情報」若しくはテレビ等で、警報級の可能性やその時間帯、台風の進路や最接近する時間帯を確認しましょう。

1日前

レベル2

気象注意報

- ～確認～
- ★道路の雨水ますを清掃しましょう
- ★地域の連絡体制を確認しましょう（再掲）

- ☞ **雨水ます**や排水設備がゴミで詰まると道路冠水などの原因となるため、公道においても、**清掃にご協力ください**ますようお願いいたします。
- ☞ 住宅の周辺に吹き飛ばされそうな物が置かれていないか確認しましょう。

### レベル3 高齢者等避難

市が、レベル3・**高齢者等避難**発令

★地域で道路冠水や宅地浸水の状況を確認しましょう

★気象情報を注視してください

☞ 避難情報の受取手段

① **防災行政無線**

② **緊急速報メール（エリアメール）**

市が携帯電話事業者と連携し、市域の方の携帯電話に一斉メールするものです。登録は必要ありません。一部、対応していない機種がありますので、携帯電話事業者を確認してください。

③ NHKやテレビさいたまの**データ放送**

④ 市ホームページや市公式ツイッター、市公式ライン

⑤ 市から会長宛の電話

市は、避難対象区域の自主防災会長等に対し、発令した旨の報告と、**可能な範囲で避難行動用支援者等への情報伝達を依頼したい**と考えています。

☞ 市は対象区域や避難場所をお知らせします。

避難に時間がかかる**高齢者等は避難**を開始しましょう。

☞ その他の方は、すぐ避難できるよう、道路冠水状況を確認しましょう。万が一、**道路や住宅に浸水があった場合、市に通報**してください。

※ 大雨注意報発表後は危険なため、川には近付かないでください。

※ 土砂災害警戒区域の斜面から小石がぱらぱら落ちるような**土砂災害の前兆現象を確認した場合、市に通報**してください。

☞ テレビや気象庁ホームページ、市公式ツイッターなどの情報に注視しましょう。

※ 気象庁ホームページで確認できる情報

① 気象情報

：埼玉県気象情報では、地域特性を考慮した詳細な予測を確認することができます。

② 詳細な雨量予測：**雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）**

③ 土砂災害の危険度：**土砂キキクル（危険度分布）**

薄紫で、市は避難情報の発令を検討します。

④ 内水氾濫の危険度：**浸水キキクル（危険度分布）**

※ 市ホームページ「緊急時（災害時）の情報取得」のリンクから、**河川水位や雨量、河川監視カメラを確認**できます。

① 柳瀬川：清柳橋観測所（関連：荒川治水橋観測所）

② 黒目川：浜崎観測所

柳瀬川はそれぞれの水位観測所の避難判断水位に、黒目川は氾濫危険水位に達した場合に、市は避難情報の発令を検討します。



### レベル4, 5 避難指示 緊急安全確保

市が、レベル4・**避難指示**、レベル5・**緊急安全確保**発令

★避難場所への立退き避難ができる場合は移動してください

★立退き避難が難しい場合は、高くて頑丈な建物へ移動してください

★避難場所運営にご協力ください

☞ レベル4以降は、**対象区域の全員が避難**してください。

☞ 夜間や道路冠水など、立退き避難が難しい場合、**無理に避難場所へ向かうのではなく、近隣の高く頑丈な建物等へ移動**し、それさえ難しい場合、今いる場所で少しでも高く、崖から離れた場所へ移動（緊急安全確保）してください。

☞ レベル5・緊急安全確保は、避難場所へ立退き避難することが困難と考えられる状況で発令するため、**レベル4までに避難してください**。

☞ 避難者情報の集約やパーティション組立てなどの避難場所運営にご協力ください。

台風通過後

★住宅が浸水した場合、市に通報してください

☞ 市では、浸水被害のあった家屋の消毒や、床上浸水世帯（住家のみ）へ災害見舞金を給付しています。

問合せ先：新座市危機管理課（048-477-2502）